



発行所 財団法人兵庫県消防協会  
神戸市中央区下山手通4丁目16番3号  
編集発行人 関山 巧  
定価 1部44円  
題字 井戸 知事

火のしまつ  
君がしなくて  
誰がする

# 平成二〇年春の叙勲

## 県下から消防功勞により十五名が受章

平成二〇年春の叙勲が四月二十九日(昭和の日)に発令されました。消防関係の受章者は、全国で四五六名、うち兵庫県では、元消防団員・職員十五名が榮譽に輝きました。

受章された方々は、永年にわたり国民の生命、身体及び財産を火災をはじめとする各種の災害から防護するとともに、消防力の強化・拡充に尽力し、社会公共の福祉の増進及び業界の発展に寄与した消防関係の方々です。

伝達式は、五月九日(金)十一時から東京・虎ノ門の日本消防会館内ニッショーホールで執

り行われ、消防庁長官から各代表者に叙勲が伝達されました。

〈全国消防関係受章者数〉

瑞宝中綬章	二名
瑞宝小綬章	十二名
旭日双光章	三名
瑞宝双光章	一三三名
瑞宝単光章	三〇六名
計	四五六名



春の叙勲伝達式

〈兵庫県下受章者(消防功勞)〉

◎瑞宝双光章 元西宮市 消防監 古賀 一人



元三日月町消防団 団長 仲村 貞昭



◎瑞宝単光章

元豊岡市豊岡消防団 副団長 秋山 昭一



元明石市消防団 副団長 泉 秀男



元尼崎市消防団 分団長 易 英昭



元西宮市消防団 副団長 家門 一男



元神戸市北消防団 副団長 白阪 暢也



元三原町消防団 団長 杉本美智夫



元加古川市消防団 副団長 永井 伸一



元浜坂町消防団 副団長 中島 齊



元和田山町消防団 副団長 中島 匡義



# 祝 自治体消防制度六〇周年 「兵庫消防」六〇〇号

すでにお気づきの方もいらっしゃるかもしれませんが、今月号をもって「兵庫消防」は創刊第六〇〇号を迎えました！また、今年には自治体消防制度六〇周年の節目の年にあたることから、これを記念して「六〇」あるいは「六〇〇」にまつわる記事を掲載したいと思っております。

元養父市消防団 副団長 濱 達人



元一宮町消防団 団長 平山 忠雄



元夢前町消防団 団長 本郷 隆久

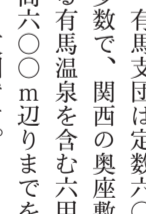


元今田町消防団 団長 溝畑 昭典

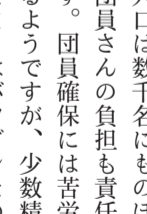


〇〇〇人の消防団員が、その保有する約六〇〇台のポンプ車等を用い地域の安全・安心のために活躍しています。そのかきもあって平成十八年における一日当たりの出火件数は、平成十七年に比べ、〇、六件減少しています。

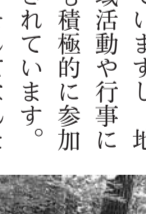
元養父市消防団 副団長 濱 達人



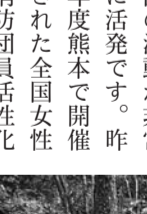
元一宮町消防団 団長 平山 忠雄



元夢前町消防団 団長 本郷 隆久

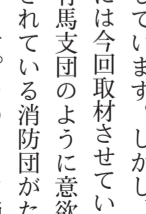


元今田町消防団 団長 溝畑 昭典

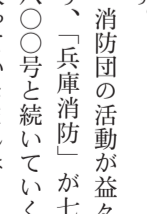


最後に、吉本分団長に今後の活動の抱負をお尋ねしたところ、「少数精鋭で濃い活動をしていく所存です！今のところ有馬では大火もなく団の出る幕はありません。しかし、災害はいつ来るとわかりません。その為に日々訓練に励みます！」とおっしゃっていました。

元養父市消防団 副団長 濱 達人



元一宮町消防団 団長 平山 忠雄



元夢前町消防団 団長 本郷 隆久



元今田町消防団 団長 溝畑 昭典



山林警戒実施

消防団の活動が益々活発になり、「兵庫消防」が七〇〇号・八〇〇号と続いていくように頑張っていきたいと思います！

「合併して、  
一、一五三名の消防団に」  
香美町消防団副団長  
西内 一博



香美町は、平成十七年四月一日に市町村合併により、香住町、村岡町、美方町の三町が合併して一つの町になりました。消防団につきましても、合併と同時に旧町の消防団が一つとなり、総員一、一五三名の消防団となりました。しかし、町域が広範囲に及ぶことから、旧町単位の

地域自治区を消防活動の単位として、旧町での活動をできるだけ継続させるような組織体制となっています。

香住町時代の消防団員は五五五名でしたが、消防活動で特に記憶に残っていることは、日本海沖においてロシアのナホトカ号の重油流出事故による重油の汲み上げ清掃作業です。香住海岸は、山陰海岸国立公園の中心に位置しますが、風光明媚な海岸美を誇っていただけに、重油で見ても無残な海岸になってしまったことに多くの町民がつかい思いをしました。しかし、消防団員の懸命な汲み取り清掃作業や町内外の多くのボランティアにより、今では元どおりの美しい海に戻り安堵しております。消防活動は、火災のみならず風水害や地震等の有事の際に町

消防団今昔

48

「人と人との絆」

元明石市消防団副団長  
池田 清隆



私は、昭和二八年より平成十八年三月末までで、五二年間の消防団活動を終えました。当時、私たちの消防団の名称は、「明石市明石消防団林崎分団」で、団員数五四人の団体でした。戦後新しくできた住宅街で、基となる組織もない環境の中での消防団結成でした。

その後、町内会ができ、さらに、地域の人々の好意によって消防団の活動拠点となる消防団詰所建築の話が持ち上がりしました。

詰所の建築には、学校の廃材をもらい、地元大工さんなどの協力によって、我々の所属する「明石市明石消防団林崎分団」の消防団詰所が完成したのであります。

完成した消防団詰所には、消防器具はなにもないので、近隣の消防団から台車、手押しポンプなどをいただいたり、そのいただいた消防器具を使って連日訓練に励んだものでした。当時の火災出動は、手押しポンプを積んだ台車にポンプをかけた、そのロープを一人ぐらいで引いて火災現場へ行っていました。また、八百屋のバタコ

民の生命と財産を守るといいう重要な使命を持っています。今後とも町民に頼りにされる消防団でありたいと願っています。



地区通信

「三木市消防本部新庁舎完成」

北播磨支部 三木市消防本部

三木市消防本部の新庁舎が三木市福井に完成し、四月十二日に消防関係者ら約一三〇人が出席して竣工式が行われました。旧消防本部庁舎は一九七一年に建てられたもので、職員も当時の約三倍の九〇人に増えて手狭になり、建物や指令台の老朽化も進んだため、昨年四月から新築工事にかかっていました。新庁舎は、三木市文化会館南の一〇、三九〇平方メートルの敷地に、鉄筋コンクリート二階建て延べ床面積三、五七五平方メートル。一階に一九番通報の発信地標システムを備えた通信指令室や仮眠室、出動準備室、市民が防災の知識を身につけられるコーナーを設け、二階に事務所や大会議室、トレーニングルーム、女性消防士用の仮眠室や浴室を設けています。敷地内には、隊員の救助訓練や市民の防災体験に対応する訓練塔が併設され、消防資器材や非常用物資の防災備蓄倉庫も完備し、庁舎裏には、消防ポンプ操法訓練が出来、長さ約百メートル、幅約二〇メートルの訓練スペースを有しています。

また、竣工式翌日の十三日には、午前十時から市民見学会を行い、市内外から一、三〇〇人余りの方が見学に訪れました。三木市消防本部では、四月二日から新庁舎での業務を開始し、三木市民の安心安全を守る新しい防災拠点の第一歩を踏み出しました。



三木市消防本部庁舎



ウェイトトレーニングルーム



司令室内部の様子

吉谷式消防ポンプ自動車

営業品目

- 屈折梯子付消防ポンプ自動車
- 化学消防ポンプ自動車
- 水槽付消防ポンプ自動車
- 普通型消防ポンプ自動車
- 高発泡機付消防自動車
- 消防救助工作車
- 小型ポンプ積載車
- シパウラ小型動力消防ポンプ
- 各種消防用品
- 消防用ホース



株式会社 吉谷機械製作所

本社・工場 鳥取市古海 3 5 6 の 1  
TEL (0857) 23-2211(代)  
FAX (0857) 27-1766



美と力を備えた  
新しいテクノロジーが  
社会と暮らしを守り続けます。

安心を科学する  
モリタです。

株式会社モリタ

本社 〒544-0003大阪市生野区小路東5丁目5番20号  
TEL06(6756)0119 FAX06(6754)3473  
東京・大阪・名古屋・仙台・福岡・富山・松山

「地域から信頼される 消防団」

市川町消防団 下瀬加分団 北 和博



市川町消防団下瀬加分団は市川町の東側の地域を管轄しており、住宅や林野での火災、さらには河川での災害などを想定し、日々訓練を重ねています。

私は、平成十四年四月に入団して以来、ポンプ取り扱い訓練や地域の防災訓練のほかに、防

災設備・器具点検を行い、日々尽力しています。

入団のきっかけは、当時の分団長から「消防団に入らないか」と勧められたことです。それまでは全く興味がありませんでしたが、訓練を重ねる中、「地域の住民の生命や財産、そして家族を守っていくため、やはり消防団は大事だ。」と思うようになってきました。先輩方も親切で、時には厳しく指導してくださるお陰で、今では一通りのことを任せてもらえるようになりました。

しかし、これまでに幾度か火災出動を経験しましたが、「もう少し早く放水できないか」「消防水利の位置の確認をすべきだった」など反省することも多く、これからも定期的な訓

われら若手消防団員

(8)

操法で県大会出場を 目指す!

篠山市消防団 第十四分団長

北山 清志



私が、消防団に入団したのは、まだ西紀町消防団と呼んでいたころの平成八年五月のことでした。地域に生まれ地域で育った者は、消防団に入団しなければならぬものと思っていました。二八才であった私にも、自治会の中でとうとう順番が回ってきて、入団しました。

ないまま、操法大会に出場して、数年はポンプの点検に顔を出す程度でしたが、平成十七年に副分団長に起用され、平成十八年に初めて操法で自分の分団が「小型ポンプの部」で市大会を優勝し、県大会に出場することができました。

今年、操法の年です。分団長の中で唯一三〇代の最も若輩者の分団長ですが、みんなをまとめあげて、強豪がひしめく中ではありますが、消防はチームワークと思い、団員を一つにまとめて今度は「ポンプ自動車の部」で二大会連続の県大会出場を目指したいと思っています。

地域の方に「消防団は頑張っているな」と言ってもらえる分団にしたいと思っています。



練を重ね、少しずつ知識、技能を身に付けていきたいと思えます。

最後に、これからの消防団活動は市川町の活性化に大きく貢献できるものであります。今後もあらゆる災害に対応できる精神力と技術力を養い、明るく住みよい町づくりに貢献していきたいと考えています。



北から南から

「伊勢の森神社大祭」

淡路市無形文化財 梯子獅子

淡路市消防団

毎年、四月初旬の日曜日(ほぼ、四月一日)までの日曜日に(行われます)に淡路市中田地区で行われる「伊勢の森神社大祭」が、今年も桜の花が咲き誇るなか、同市中田の伊勢の森神社で、四月六日に行われました。

「伊勢の森神社大祭」は、無病息災や家内安全を願う、江戸時代から三〇〇年近く続く伝統行事。当時流行した牛馬の疫病を鎮めるため、伊勢神宮(三重県)から分霊を受け、祭りをしたことが始まりとされています。

祭りで演じられる梯子獅子(はしごじし)は、淡路市無形文化財で、高さ約十メートルの梯子の上で、踊りや逆立ち、綱渡りなどを披露します。

中田地区の町内会が持ち回りで曲芸や綱渡りを担当する当祭り、今年は大田道町内会(おえどちようないかい 六四世帯)が受け持ちました。一月下旬から練習を始め、二月十一日には同町内会に梯子を建て、本格的な練習に入りました。

練習は、毎週土・日曜日(全体練習)、平日は二回(グルー



スリル満点の梯子上舞踊

ブ練習)と、ほぼ毎日のように夜遅くまで続けられました。約二ヶ月という練習期間で、獅子舞をはじめ、踊りや綱渡りなどの演目を覚えるのは、大変だったと聞きました。なかでも、危険をとまぬ高い梯子の上で演じなければならぬ芸においては、立つ事すら困難であったが、伝統芸を受け継ぐつという強い意志で練習を重ね、恐怖心を克服したといえます。

祭り当日、天気は快晴で風もなく、絶好の祭り日和になりました。神事が終わるといよいよ演目の始まりです。まずは数百年の披露となる「奉納獅子(夫婦獅子)。二頭の獅子が拝殿から勢よく出てきて舞います。獅子はかなりの重量があるそうです。

続いては舞台を梯子の上に移しての「梯子上舞踊」。五本の扇子を口や両手で持って舞う「松づくし」や、鮮やかな着物をまと「きよしのズンドコ節」・「日本の男」・「安木節」などの踊りを披露しました。すべてが、高い梯子の上での演技と

いうことで、観客からは、大きな拍手が沸き起こっていました。次に、梯子から谷を越えて張られた長さ約六〇メートルの綱の中央で、若者が演技をしながら渡る「若衆綱渡り」、二人組の船が渡る「鴨緑江(おうりょっこう)」と続きました。

最後は、「獅子綱渡り」。猿を従えた獅子が、いろいろな演技をしながら梯子にのぼり、安産や豊作を祈願する「御幣(ごへい)」を口にくわえ、四方を見渡した後に下へ落とすと、集まった観客は競い合うように拾い上げた。その後、獅子は華麗に綱を渡りきり祭りが終わりました。祭りを通じて、子どもから大人まで、すべての人たちが結束し、伝統芸を守っていく、引き継いでいくという気持ちや姿勢が強く感じられました。



祭りを彩る座布団だんじり

- ・操法最適ホース : コンペVシリーズ
- ・小型動力ポンプ : ラビットダイヤモンドフジシリーズ
- ・小型動力ポンプ積載車(標準型・全自動型)
- ・消防ポンプ自動車(モリタ)
- ・消防用資機材全般



有限会社 西垣消防器具製作所  
 669-5213 兵庫県朝来市和田山町玉置461  
 TEL:(079)672-3131  
 FAX:(079)672-3132  
 E-mail: fp-nishigaki@eagle.ocn.ne.jp

地区通信

道場町の防人(さきもり)として

神戸市北消防団道場支団

道場支団は、神戸市の北東端に位置し、東は西宮市、宝塚市、北側は三田市に接する北区道場町を管轄しています。道場町は田園風景を中心に周りにはマンション、切り立った山が林立し、JR道場駅にはロッククライマーやハイカーが多く訪れる風光明媚な所です。

道場町には武庫川の支流をなす有馬川、有野川、八多川、長尾川、丸山川など多くの河川が流れ込むため、治水工事が整っていない頃から、河川の氾濫は絶えず、堤防位置が移動している痕跡が随所に見られます。最近では、平成十六年一〇月中旬に襲来し兵庫県下にも甚大な被害をもたらした台風二三号による被害が記憶に新しいところです。JR道場駅近くでは床上浸水が多数発生し、住民避難を余儀なくされました。もう一時間長く降り続けば被害は甚大になったと予想されています。



神戸市総合防災訓練



地域防災の要として

余談ですが、平成十六年の兵庫県消防操法大会に神戸市代表として道場支団が出場するにあたり使用していた有馬川河川敷の訓練場がこの台風の影響によって、アスファルト敷きや消防ヘリポート用コンクリート構造物が洗い流されてしまいました。このように過去何度も水害に遭った道場町の住民は特に水防に対する意識が強いところです。そんな中、昨年の夏に平成十九年度神戸市総合防災訓練が道場町で実施されました。会場は道場小学校運動場とそれに隣接する有馬川河川敷(道場支団の消防操法訓練場)を中心に展開されました。

訓練は、「大雨を伴った大変強い勢力の台風が神戸市に上陸し、大雨・洪水・暴風警報が出る中、期間降水量が三〇〇ミリメートルを超え、北区道場町を流れる有馬川で溢水の危険があり付近住民の避難が必要となっ

た。」との想定から始まり、時間の経過とともに付近一帯、有馬川から溢れた水で床下、床上浸水、土砂流入、流出家屋等の被害が発生したという設定で、道場町連合自治会、北区防災コミュニティ、神戸市消防局、神戸市北消防団、陸上自衛隊、兵庫県警、民間関連企業、近隣行政(三田市消防と地域住民)、道場小学校児童等々多数の人々の参加の下、防災訓練が繰り広げられました。

我々、道場支団は避難勧告マイク広報、避難住民を避難所への誘導、要援護者を乗せた車両の誘導、そして三段積み土嚢工法を行うなど総合訓練に参加しました。訓練が終了したときには、参加したすべての人が汗でびしょ濡れになっていましたが、皆さわやかな笑顔でした。転ばぬ先の杖、万に備えてこのような訓練が定期的継続的に実施されることが望まれます。

吹く風も心地よい好季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。さて、ご存じのとおり「兵庫消防」は今月号をもって創刊六〇〇号を迎えました。一面では、平成二〇年度春の叙勲に加え特集記事を掲載しております。また消防団今昔には香美町消防団副団長西内一博さん、元明石市消防団副団長池田清隆さんより寄稿いただきました。厚くお礼申し上げます。

なお、今年度の「兵庫消防」の編集は前年度に引き続き、谷山本が担当させていただきますのでよろしくお願い致します。

編集後記



「こんにちは!兵庫の消防団です」
(財)兵庫県消防協会
http://www.hyogoshoubou.jp/

【お詫びと訂正】
「兵庫消防」平成二〇年三月十五日発行第五九九号の一面記事において、表彰者の氏名が誤っておりました。深くお詫びしますとともに、次のとおり訂正いたします。
正 精績章 姫路市姫路西消防団
分団長 大塚 秀祐(誤) 大塚 祐秀

みんなで入ろう互助年金
消防互助年金
【消防の仲間が支える互助年金】
人生80年時代!老後の準備は怠れません
消防関係者一人ひとりの老後を充実させます
安全・確実・安心です!
老後の生活 安定のために!

消防団服
甲種 日毛・帝人・東レ団服・作業服・制帽
乙種 刺子・木綿
ハッピー・ズボン・腹掛・革バンド
附属品一式
キンバイホース 兵庫県特約店
株式会社 三浦消防
姫路市竜野町1丁目1番地
電話 (姫路) 92-0447
(0792) 98-8663

世界へ羽ばたく!
GMの消防自動車
大槻ポンプ工業株式会社
●本社・営業本部
〒623-0021 京都府綾部市本町7丁目67-2
TEL (0773) 42-0681 (代)
FAX (0773) 42-9229